

# 平成29年度（2017年度）学校自己評価・関係者評価

学校番号72 長野県木曾青峰高等学校 全日制

学校教育目標	重点目標
<p>広い視野とやさしく豊かな心を持ち、真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人間を育成する。</p> <p><b>（教育方針）</b></p> <p>①自他の敬愛と協力を重んじ、民主的な社会の形成者たるにふさわしい豊かな人間性を養う。</p> <p>②自主・自立の精神を養い、主体的にして責任ある行動のとれる人間を育てる。</p> <p>③学習及び諸活動における真摯・勤勉の気風と切磋琢磨の精神を重んじ、個々の能力の伸長を図る。</p> <p>④多様な学習によって、自らの未来を切り拓く力と創造性豊かな個性をはぐぐむ。</p> <p>⑤故郷の社会・文化を大切にする心を培い、地域社会の発展に寄与する人間を育てる。</p> <p>⑥木曾の豊かな自然を愛し、地球環境の未来を考える視野を養う。</p>	<p>①いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。</p> <p>②あらゆる分野で生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進する。</p> <p>③生徒の能力や個性を伸ばし、進路希望の実現を図る。</p> <p>④生徒会・部活動などの諸活動を積極的に支し、地域社会に貢献できる生徒を育てる。</p> <p>⑤地域社会との連携と開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>⑥各学科の特性を活かす教育活動を進める。</p>

評価 A…よい B…おおむねよい C…不十分

自己評価		学校評議員評価	
学習指導	評価	評価	意見・感想
<p><b>授業内容の充実</b></p> <p>【成果と課題】 生徒の授業への評価はおおむね良好である。電子黒板の導入などでICTを活用した授業が増えてきた。</p> <p>【改善策・向上策】 来年度入学生からセンター試験が変わっていくので、それに対する授業展開を考えていかなければならない。</p>	A	A	<p>○ICTの活用力は今後更に求められるので、郡全体の小中学校へ公開・発信をお願いしたい。</p> <p>○学力向上に更なるご指導をお願いしたい。</p> <p>○全員に渡せるiPadはないが、できるだけiPadを使用した教育も必要ではないか。</p> <p>○一方通行の講義型授業では、おいてきぼりの生徒が出ると思います。子どものわかり方がとても多様になってきています。</p>
<p><b>家庭学習の習慣</b></p> <p>【成果と課題】 昨年に比べて「おおむね良い」の割合が多くなってきた。今後もHRや授業で家庭学習の重要性を伝えていきたい。</p> <p>【改善策・向上策】 クラブ活動や生徒会活動との両立の必要性がある。スマートフォン等の利用についてもHRや授業で生徒に考えさせていきたい。</p>	B	B	<p>○大学進学希望水準が低いと思う。偏差値55以上の国公立・私立大受験を目指して取組んでほしい。家庭学習の重要性を高めることで、進学水準は上がる。</p> <p>○時間活用については、小中高とも共通の課題です。家庭に協力をお願いしても限界があります。うまくできている事例など具体的なもので工夫刺激してはどうでしょうか。</p> <p>○町の文化交流センターで、学習する姿がよく見られる。</p> <p>○クラブ活動で疲れてしまい学習との両立は難しい面があると思うが、重要であることを教えてほしい。</p> <p>○今後もよろしく願います。</p>
<p><b>補習内容の充実</b></p> <p>【成果と課題】 土曜補習・休業中の補習など充実した内容になっている。</p> <p>【改善策・向上策】 次年度も積極的に行い、進路実現など実質的な成果が出るよう位置づけたい。</p>	A	A	<p>○センター試験が変わるためよりロジカルな文章能力が問われるため、小論文の補習授業（論文のテクニック習得）を多くしたらどうか。</p> <p>○先生方も大変だが、よろしく願いたい。</p> <p>○今後もよろしく願います。</p>
<p><b>各種資格検定への取り組み</b></p> <p>【成果と課題】 今年も生徒が熱心に資格取得に取り組めた。</p> <p>【改善策・向上策】 資格取得のための学習の充実を図っていきたい。</p>	A	A	<p>○資格取得ができることを目標に、青峰を志望する中学生が多い。</p> <p>○目標をもって取り組めることは、生徒にとって幸せである。</p> <p>○生徒に役立つものは、どんどん取り入れてください。</p> <p>○今後技術者（車輛系も含め）が足りなくなっていくので、より一層資格取得を受験する生徒が多くなることを望む。</p>

進路指導	評価	評価	意見・感想
<b>進路目標の明確化</b> <b>【成果と課題】</b> 進路講演等の機会を通じて全体として進路目標の明確化は早まってきている。進路が明確にならない生徒に対しては、個人面談等を通じてより有効な働きかけや進路・学校・職業に関する情報を提供することが必要とされるだろう。 <b>【改善策・向上策】</b> 今後もキャリア教育を常に見直し、面談を計画的に行う等して生徒が意欲的に目標実現に向けて学校生活を送れるように具体的な指導を行っていききたい。	A	A	○地方創生が推進されていく中で働く場所・働き方など、世の中の変化に対応した進路指導が重要と考える。自分の職業をどうするのかは時代の変化を考えて指導されることを望む。 ○引き続き生徒の進路実現に向け指導をお願いします。
<b>具体的な進路指導</b> <b>【成果と課題】</b> 3年間を見通した進路指導は概ね確立できており、各学年学科の工夫もあり進路指導行事は成果を上げている。 <b>【改善策・向上策】</b> 3年生の指導に偏りがちだが、自立した進路選択と進路実現に向けて、1、2年次の進路指導を重視し、充実させたい。	A	A	○目的意識をもって学校生活を過ごすために、1・2年次の指導が大切と思われる。 ○普通科・職業科によって進路指導の内容は違うと思いますがそれぞれの生徒の能力に見合う希望（夢）の実現について3年間の道筋ができれば最高の指導といえる。 ○志高き人と出会える機会を作っていただきたい。
<b>進路の実現</b> <b>【成果と課題】</b> 3年生になると生徒は進路実現に向けてよく努力するが、1・2年次の基礎学力の定着がまだ不十分である。2年次の進路希望と実際の進路状況を比較すると、特に国公立大学で希望が叶っていない状況が見られる。 <b>【改善策・向上策】</b> 1・2年次から進路に関わる指導を加え進路意識を高めるとともに、手帳・学習記録などを利用した計画的な家庭での学習習慣の確立と定着を促したい。	B	B	○小中の学力如何であるが、このような地域においては小中高の連携をもった教育づくりが必要と考える。新たな木曾の教育づくりをお願いしたい。 ○卒業生の活躍の話がよく聞こえてきて頼もしい。その実績が力になる。 ○生徒とともに保護者や地域の意識改革が課題である。

生徒指導	評価	評価	意見・感想
<b>生徒の人権意識の育成</b> <b>【成果と課題】</b> 仲間内の悪ふざけからトラブルにつながる事案が例年に比べ多かったことが、今年度の大きな課題である。 <b>【改善策・向上策】</b> 事前指導や予防に重点をおき、起きてからでは遅いと考えると、他者の人権を尊重する意識を持たせる工夫が必要である。また、情報モラル教育も引き続き充実させていきたい。	B	B	○SNSなどスマホ・ネットの利用における怖さ（デジタルタトゥー）を更に学び合えるとよい。 ○いつでも挨拶ができるよう、ご指導お願いします。 ○人としてどう生きるか哲学を持った教育づくりに教育現場の質が問われるため、先生方の一層の努力をお願いしたい。
<b>集団生活をとおして社会性の涵養</b> <b>【成果と課題】</b> 電車内など公共の場所で地域社会の一員である自覚に欠けている言動も見受けられるが、校外活動などを通して社会性も身につけてきている。 <b>【改善策・向上策】</b> 校内外の集団的な活動を通じて、モラル、マナーを向上させる。また、社会性、協調性の涵養を目指して、ホームルームや部活動などと協力して取り組んでいきたい。	B	B	○学校訪問の際、多くの生徒から明るい挨拶を受け、気持ちよく感じます。また式典等への参加する姿からも、生徒の真面目さが見とれて好ましく思われました。 ○登下校時など、挨拶を交わしたり言葉も丁寧である。 ○生徒一人一人が自覚をもって行動してほしい。 ○小さい頃からの教育（親・家庭教育）に問題があることは事実としてある。しかし、学校教育の現場でその軌道修正をできれば、社会に出て責任を持った人間として働くことができるのではないかと。
<b>カウンセリングの充実</b> <b>【成果と課題】</b> スクールカウンセラーや外部機関と連携し、相談に対応することができた。また、学校生活適応感に関するアンケート（アセス）を実施し、学年や授業担当の担当者を中心に情報を共有するとともに、その結果から問題を抱える生徒をカウンセリングにつなぐことができた。 <b>【改善策・向上策】</b> 相談窓口があることを生徒・保護者に周知すると共に、職員が事例研究などを通じて認識を深める。	A	A	○今後も是非継続してください。先生方のカウンセリングマインドや発達障がいについての理解を深め多様な特性に対応していただきたいと思います。特にそれが求められる地域だと思っています。 ○今後もよろしくお願いします。

特別活動	評価	評価	意見・感想
<b>自主活動の充実と生徒の自立</b> <b>【成果と課題】</b> 役員による連絡会やミーティングなど情報共有の機会を多くし、より良い運営・活動を模索しながら日々活動している。 <b>【改善策・向上策】</b> 役員間だけでなく、役員と生徒間でも情報共有する場を設けるため青峰ポストを導入したが、更なる企画を通して情報共有の場を設けたい。	A	A	○「雪灯りの散歩路」で高校生が生き生きと参加し、町を元気に明るくしてくれていた。 ○青峰ポストなど、情報共有の場を今後も工夫してほしい。 ○創立十周年記念式典の進行が、生徒主導でよかった。 ○信州総文祭を参観して、高校生が生き生きと活動している姿に大いに感動しました。これこそ高校生に見せたい、参加させたいイベントだと思います。そして保護者にも。本校にも関係する生徒がいると思いますが活躍を期待しています。 ○情報共有の場を設けていくことに期待する。
<b>地域を視野に入れた活動</b> <b>【成果と課題】</b> 蒼陵祭や地域での行事、ボランティア活動などを通して、本校をアピールする事が出来た。同時に生徒が地域を見つめなおす良いきっかけをつくる事ができた。 <b>【改善策・向上策】</b> 地域の行政やボランティアと連携しながら様々な地域課題に積極的に関わっていけるような取組みをより行っていきたい。	B	B	○「演劇部」の活躍等、地域にとって嬉しく誇らしい活躍が見られた。 ○青峰高校の文化祭及びボランティアに関しては評価できる。地域の課題に関わることで、今後の日本の問題点が理解できればうれしい。 ○「雪灯りの散歩路」などの参加は、今後ともお願いしたい。 ○木曾町だけでなく、大桑・上松・南木曾等も行うとよい。 ○地域行事・活動等に参加する高校生の姿を見る事が稀な地域もあります。地域や家庭の課題でもあるが、学校からの積極的な指導・取り組みを行ってほしい。郷土愛・母校愛が十分意識できるような指導を期待します。 ○地域での就労体験や企業めぐりなど、進路学習のひとつとして取り入れられないか。（もう実践されているかもしれませんが） ○地域との関わりが年々強くなってきていると感じています。すばらしいと思う。

全般	評価	評価	意見・感想
<b>PTA活動の充実・家庭との連携</b> <b>【成果と課題】</b> PTA総会や地区懇談会、各委員会などの諸活動を年間計画に従って実施し、保護者や地域に学校の様子を伝えることができた。また、地区懇談会で出された学校への意見要望を、関係する係で検討することができた。 <b>【改善策・向上策】</b> 来年度もPTA活動を通して学校・家庭・地域が連携し、課題を共有し、協力できる体制を作っていきたい。	A	A	○地域校として、また中山間地域の高校として注目度はかなりある。しかし過度な協力体制は生徒の自主性についてどうか疑問である。
<b>情報発信</b> <b>【成果と課題】</b> ホームページのリンク付けなどで簡単に閲覧できるようにした。青峰Now!では、昼休みイベントなど即掲載したが、学校行事の様子をすべて発信することができなかった。 <b>【改善策・向上策】</b> さらに各学科のホームページ及び青峰Now!を充実させる。	B	B	○HPは見やすく充実していると感じる。 ○今後のHPの充実に期待したい。 ○学校の様子等を常に発信してもらいたい。 ○「青峰Now!」の地域回覧方法は良い方法だが、一般住民向けとしては文字の大きさ、見栄えなどがもうひと工夫されるとよいと思います。 ○高校の情報発信は、継続性に重点を置いて発信能力を高めていってほしい。 ○地域の方の声「便りに出身中学がのっていて、上松の子だと思ふと熱を入れて読む。」 回覧板で回覧される便りはよく読まれています。地域柄かパソコンのない老人世帯は紙ベースでしか情報が入りません。

<p><b>地域との連携・開かれた学校づくり</b></p> <p>【成果と課題】          課題研究発表会や専門科展（森林環境科・インテリア科）を通して、地域の方々に日々の学習の成果を公開することができた。          体験入学のスケジュール変更により、普通科も体験授業を受けることができ充実した内容になった。          年2回実施している授業公開の参加者数は、昨年度同様伸び悩んでいる。</p>	A	A	<p>○学校通信や新聞等からの情報に、地域に目を向けた活動や学びの様子を目にすると大変喜ばしく思われます。生徒の課題研究発表でも、地域の観光や食文化に目を向けた研究には、大いに興味・興味が持てました。学問的・科学的・論理的な課題設定もいいが、それは生徒自身の今後・将来の課題に据えることもできるので、この地域に生活するうちでしか取り組めないような地域の課題に目を向けさせて、故郷への関心や愛着を育てていければよいと思いました。特に、理教科の生徒にこそと思われます。信州学～木曾学の時間の充実を期待します。</p> <p>○授業公開の際、教室の入口の戸が開まっていると教室に入りにくいものです。教室の入口に「どうぞお入りください」と一言あるといいかもしれません。</p> <p>○授業公開というチャンスが生かされないのは残念だ。時期など、PTAと相談して対策を考えていただきたい。</p> <p>○今後も今まで同様をお願いします。</p> <p>○地域との連携という観点から公開授業の参加者が少ないから連携できてないというのは、早計であると思う。また、森林環境科については特徴をもった学科であり、また将来性のある点からもこの地域での役割を担う生徒が輩出されることは今後ますます期待できると思う。森林経営等、もっと林学にてらした学習成果の発表がされることを期待したい。</p>
<p>【改善策・向上策】          授業公開の参加者数が増加するように、時期や内容および広報活動の充実に努めていきたい。</p>			
<p><b>生徒・職員の健康管理</b></p> <p>【成果と課題】          (生徒) 予定通りに健康診断を実施することができた。受診勧告をしてもなかなか受診につながらない生徒もいる。生徒の心身の健康状態について職員と情報共有しながら支援することができた。          (職員) 勤務時間調査を年2回から毎月実施することになったので、今後職員の健康管理に活かしたい。ストレスチェックや、人間ドックの受診の声かけを行っており、今後も受診につながるよう促していきたい。</p> <p>【改善策・向上策】          生徒への受診勧告を行うと同時に、健康管理の意識を高めるよう、ほけんだより等を利用して呼びかけていく。</p>	B	B	<p>○職員については働き方改革の中で改善されていくと考えられるが、生徒については心身の心の部分についての早期発見や対処について工夫が必要ではないか。</p> <p>○ハードな勤務実態が知られるようになってきているが、学校現場から改善策を発信してほしい。</p> <p>○健康管理も大切なことです。</p>
<p><b>連絡体制の完備</b></p> <p>【成果と課題】          一斉メールの登録率は、担任の先生方の呼びかけにより昨年度より向上したが完全登録の徹底ができなかった。</p> <p>【改善策・向上策】          一斉メールの登録率がさらに上がるよう、未登録の生徒及び職員に、さらに声かけをする必要がある。</p>			